

令和5年（2023年）3月20日発行

学位取得 おめでとうございます

卒業おめでとう。大学生活のほとんどをコロナ禍という逆境の中で過ごされ、多くの困難を乗り越えて今日の日を迎えられる皆さんに、心からお祝いの言葉を贈ります。また大変なご苦労の中、この4年間を支えてくださったご家族の皆様にも深く感謝いたします。

これからが
これまでを決める学長
成田 健一

今、世界はさまざまな要因で対立・分断が深まり、この先の社会のあり様は、不確実性、不透明感が増すばかりです。巷にはフェイクニュースや真偽の判別がつかない強い主張が渦巻き、我々を振り回しています。この時代はかつてないほど多様な価値観や情報が

答に飛びつきたくありません。しかし、今必要なのは、簡単な答えを見つけることではなく、辛抱強く考え続ける力、ひたすら考え続ける不安定な状態に耐える力、ネガティブ・ケイパビリティです。

さらに、これからは皆さん自身が情報化されるという社会に益々なっていく。スマートフォンで多様なアプリを使い、ネット広告にさらされ続ける私たちは、既にデータ化され管理されています。一旦蓄積されたデータは自分では消せないため、我々は過去のデータに益々拘束されることになりま

す。既にローンの与信審査や役職者の仮釈放の判断にAI（人工知能）が導入され、「これまでもがこれからを決める」という社会に向かいつつあります。

しかし大学は、人は誰でも、いつからでも変わる、そう信じて教育を行っている。4年間で大きく成長してくれた皆さんの姿こそが、その何よりの証です。失敗も含め、過去はそれをどう生かすかという、これからの生き方次第で意味がまったく変わります。「これからが、これまでもを決める」それを心の糧として、これからも挑戦し続けてくれることを願っています。

社会課題に
技術をつなぐ
感性を理事長
柳澤 章

入学して2年目の春、パンデミックによって学びの環境、キャンパスライフが一転しました。不自由を余儀なくされましたが、同時に、持ち前の技術マインドを大いに発揮しながらリモートとリアルハイブリッドをやり遂げ

球全体を様々な困難が覆っていて、山積する課題の解決が急務となっています。諸君はいきなり地球規模の問題に取り組むことは出来ないでしょう。どんな社会課題にどんな技術をどうつなぎ合わせるか。身近な例として、これまでも地元宮代町で、あるいは他大学との連携

で社会の小さな、しかし現実の問題に取り組んできた諸君も多いと思います。そうした活動の中で皆さんの社会を見つめる感性と技術マインドが磨かれて来られた事でしょう。卒業後も企業という組織の中で商品企画、開発、生産マーケティングなどの種々の立場から社会課題に携わる方も多いと思います。

コロナパンデミックによる様々な制約障害もいよいよ解決する兆しが見えて来ました。苦しい時間が明ける時、いつの時代でも厳しい状況をバネにして大きなジャンプ力を持つ様に、それまで思いつかなかった様な新しいものが生み出されるのは、人類の歴史が物語っています。ましてや、我々の目の前には人類未曾有の諸課題が突き付けられています。2000年、2001年生まれデジタルネイティブの皆さんならではの感性に期待し、時代を切り拓いていただく事をお願い致します。

環境特別講演会

プラスチックの現実と
未来へのアイディア

今年度の環境特別講演会へは1月21日、講師として東京農工大学農学研究大学院物質循環環境科学部門高田秀重教授を招き「プラスチックの現実と未来」をテーマに開催された。今回のテーマは環境問題の中でも注目されているプラスチック汚染問題に焦点を当てた。リモート参加、対面のハイブリッド形式で実施され、教職員、学生を合わせて約120名が聴講した。併せて、リアルタイムで聴講できなかった学生に向けてYouTubeによるオンライン配信も行



オンラインで講演を行う高田教授

われた。高田教授の講演の中では豊富な資料とデータをもとに、海洋と陸上でのプラスチック汚染の実情、環境や健康への影響、また取り組むべきプラスチック問題へのアプローチ方法が分かりやすく解説された。陸上で収集されたプラスチックごみが海上で微細化してマイクロプラスチックとなり、今や50兆個以上、世界の海を漂っている。生態系に大きな被害を与え、さらに食物連鎖で人

間の体内から検出されたというデータもある。またプラスチック素材に含まれる酸化防止剤、可塑剤、難燃焼剤などの添加剤がもたらす人体への悪影響といった憂慮すべき事実も紹介された。

最後の質疑応答では、学生からの疑問点に対する回答を通し、さらに知見を深められる大変有意義な学びの場となった。本講演会は環境教育検討部会の主催で、毎年様々な環境分野に関する講師を招き、タイムリーな話題を選んで開催しており、大学の役割のひとつとして期待される気候変動や脱炭素社会を担う「グリーン人材」の育成を目指している。

カレッジマイスターエクセレント認定

ものづくりの総合力で社会貢献できる人材を育成

カレッジマイスタープログラムでは、各プログラム分野において高い見識・知識および技術を身に付けたと認められた学生に、マイスターの称号が与えられる。今回は36名が3学年修了時にカレッジマイスターの称号を得ており、その中でも特に優れた17名には、学位記授与式においてカレッジマイスターエクセレントの賞状とゴールドメダルが授与される。

これらの受賞者は、今後も「ものづ

くり」における高い総合力を発揮し、社会に大きく貢献することが期待される。

各プログラムでの受賞者数は、機械加工工房(3名)、フォーミュラ工房(1名)、モノ創りデザイン工房(2名)、知能化モビリティ(2名)、Science Grit(1名)、ロボット製作プロジェクト(1名)、ヒューマノイドロボット研究(1名)、フィジカルコンピューティング工房(2名)、木造建築工房(4名)である。



フォーミュラ工房



ロボット製作プロジェクト

埼玉キャンパス 写真アルバム

今年度の卒業生が入学した2019年、年末から新型コロナウイルスの影響が社会全体を覆い、本学の学習環境、学生生活も一変した。その影響はここに掲載した写真にも表れている。

20年度に入ると状況は一層厳しくなり、緊急事態宣言が度々発出される中、ほとんどのイベントが中止、縮小された。例えば大学祭（若杉祭）はオンライン開催となり、翌21年は5号館を会場に在学生のみに入場制限して開催された。

多くの学生にとって、想い描いていたキャンパスライフとはかけ離れた状況が2学年以降、卒業まで続くこととなった。厳しい制限の中で何ができるか、どんな形でできるか。学生と大学側で試行錯誤を続けた3年間であった。

本館



入学式

2019年4月



体育祭

2019年9月



ウェルカムパーティー

2019年4月



学生総会

2022年5月



夏祭り

2021年8月



授業風景

2020年8月



若杉祭

2021年10月



多目的講義棟

◆主に4年生（卒業生）が活躍している年度の写真を掲載しています
◆年月は掲載写真の撮影時期を示しています
◆★印の写真は学生会卒業アルバム委員会より提供されました

2022年度 学長賞・英語学習サポートセンター長賞

学長賞は学業成績が特に優秀な学部卒業生と大学院修了生を対象とし、学会等への論文投稿や表彰件数などの実績をもとに選考される。英語学習サポートセンター長賞は、英語科目で特に成績が優秀であると認められた学部生が対象となる。

■学長賞（学部生）

学 科	氏 名	出身校
機械工学科		
電気電子 通信工学科		
応用化学科		
ロボティクス 学科		

学 科	氏 名	出身校
情報メディア 工学科		
建築学科 建築コース		
建築学科生活環境 デザインコース		

■学長賞（大学院生）

専 攻	氏 名
電子情報メディア工学専攻	
建築デザイン学専攻	

■英語学習サポートセンター長賞（学部生）

学 科	氏 名	出身校
応用化学科		
建築学科		

専門職大学院だより

アイデアと日本文化

大学院技術経営研究科・教授 石井 宏宗

昨年から「新製品事業開発法」という科目を担当している。ゼロベースのアイデアから製品や事業を考案し、スタートアップさせるシミュレーション型の講義である。受講者にとって最初の壁は、「アイデアとは何ぞや？」となる。ここが意外と難しいのである。アイデアとは何を意味するのであるのか。一つの解として、外山滋比古『思考の整理学』やJ・W・ヤング『アイデアの作り方』は、アイデアとは物事の組み合わせであるこ

とを教えてくれる。要するに、既存の物と物、物と事、事と事、これらの組み合わせがアイデアという事になる。くわえて、ピータードラッカーは、アイデアにもとづくイノベーションは経済活動の大きな源泉であると述べている。既存の物事の組み合わせがアイデアとなり、アイデアはイノベーションへと転じ、経済活動を前進させる。アイデアはイノベーションという大河上流の源水一滴なのである。

他方、この手の実践的講義は学術的ではないと批判されることもある。しかしながら、アイデアからの製品事業開発と学術研究は相似形にあると小職は考える。研究プロセスは先行研究を徹したレビューから始まる。丁寧なレビューから新たな発想すなわち仮説が生まれ、仮説は分析と検証から実証が為される。既存の先行研究の組み合わせが仮説とすれば、研究仮説とはアイデア、熟考された分析と検証はイノベーションと置換できよう。研究プロセスも先達

のアイデアからのイノベーションが重要なのである。実践も理論も、既存要素を組み合わせたアイデアから物事を展開することが不可欠である。念入りな先人知見レビューの組み合わせからアイデアを生み出し、イノベーションへと駒を進めることが肝要である。この原理原則は、意外な場でもみることが出来る。松尾芭蕉は「不易流行」という概念を生み出した俳人である。不易は変わらない物事、流行は変わりゆく物事である。不易は流行の母となる。日本には不易流行を文化として成熟させてきた歴史がある。日本文化である不易

を賣求するものである。直し、新たなアイデア、イノベーション、時代の創造を賣求するものである。3月に入り大学生の就職活動が本格化している。企業の採用活動に対して政府が要請している日程では、大学4年生になる直前の3月から企業の説明会および応募書類の提出が始まり、6月から面接が解禁となっている。しかし、このルールが形骸化している。もともとIT系や外資系など、早くから内定を出す企業はあったが、それ以外の企業においても早期化が進んでいる。それに加えて、新たなアイデア、イノベーション、時代の創造を賣求するものである。



模擬面接練習

就職支援課では就職相談を通して「履歴書添削」や「模擬面接練習」さらに「企業紹介」など、充実した支援を続けていく。内定獲得の日まで皆さんの味方であることを忘れないでほしい。

上の学生が、今後の活動に活かそうと担当者の説明に熱心に耳を傾けていた。このセミナーで得た情報を活かしながら、現在は多くの学生が積極的に就職活動をしている。一方で「売り手市場」との言葉に甘え、今一つ就職活動をしてほしい。

就職活動に力が入らない学生には、4月17日から5日間実施する「学内合同企業説明会」に参加することを勧める。「理系新卒」というブランドは人生で一度きりである。これから本命の企業の選考に臨む学生は、「実工学」の学びで身につけたチカラを自分の言葉にし、熱い想いを相手に伝えることで悔いのない就職活動をしてほしい。

マイクロロボコン高校生大会

3年連続となる遠隔開催。来年は本学開催に期待。



YouTubeで公開されたオンライン表彰式

第16回マイクロロボコン高校生大会は本学での開催を予定していたが、昨年同様に遠隔での開催となった。

高校では、コロナ禍の影響の中で部活動や課外活動等があまり活発に行われなくなっていた時期があったが、本年度は少しずつ落ち着きを取り戻した高校が活動を再開し始めている。その中で、製作の仕方等の問い合わせは多くあったが、新たな活動として大会の参加に間に合わなかった高校もあり、来年度以降はより多くの高校の参加が

期待される。

大会結果は、各高校から送られてきた映像と計測タイムによって評価された。審査結果と表彰の様子を撮影した映像を合わせて、YouTube上で公開した。最近は高校生も映像を撮影して送る事に慣れている様で、すべての参加校から映像が届いた。

3年続けて遠隔での開催となってしまったが、会場での緊張感や他校との交流が足りないことから、来年度は本学での開催を望む声が多く聞かれた。

競技結果表

順位・表		高校名	操縦者	ロボット名
1インチ部門	優勝	愛媛県立松山工業高等学校	濱田 康誠	citation X
	準優勝	愛媛県立松山工業高等学校	宮岡 佳治	下顎廻爪
	第3位	愛媛県立松山工業高等学校	中須賀 光希	ゆーま様
	第4位	愛媛県立今治工業高等学校	久保 寿摩	KAZU Robot Edition II
	第5位	長野県箕輪進修高等学校	和田 隆之介	ミノキチJr.
	第6位	愛媛県立今治工業高等学校	廣木 佑希	キュウリ
	第7位	東京都立八王子桑志高等学校	渡邊 新之介	幸成
	第8位	福島県立塙工業高等学校	澤口 楓佳	零
ネームカード部門	優勝	長野県松本工業高等学校	西脇 琉晟	雀ちゃん
	準優勝	長野県松本工業高等学校	加藤 雅陽	飯森エビデンスⅢ
	第3位	長野県箕輪進修高等学校	舘野 太輝	雪風改二
	第4位	埼玉県立与野高等学校	加藤 小瑠里	カシオペア
特別賞	技術賞	愛媛県立今治工業高等学校	久保 寿摩	KAZU Robot Edition II
	エコロジー賞	東京学芸大学附属高等学校	宮崎 泰輔	おせちくんⅡ
	デザイン賞	長野県松本工業高等学校	加藤 雅陽	飯森エビデンスⅢ
	工友会賞	東京都立八王子桑志高等学校	大前 皓聖	鷹志
	学長賞	茨城県立つくば工科高等学校	※学長賞は高校が受賞対象	

第72回教育改革シンポジウム（12月15日開催）

教育現場のLGBT

LGBTの学生が過ごしやすい学校現場とは

学校法人の教職員研修「当事者にとってカミングアウトは、する・しないのどちらにもリスクがある。本人の意思を尊重すべき」「LGBTの大学生への対応をテーマとしたものであった。前半は、レイ法律事務所

の森伸恵弁護士による講演。「日本のLGBT人口は8.9%。鈴木・佐藤・田中・高橋姓の合計より人数は多い。自分の周囲にも当事者がいるという前提での行動を」



トークセッションを行う岩崎氏(左)と森氏

学生が多くが直面する困難「教職員・大学におけるLGBT対応の成功事例と失敗事例」などが説明された。

後半は、大学時代を男性として過ごし、現在は女性としてレイ法律事務所勤務する岩崎氏と森弁護士のトークセッション。岩崎氏からは「大学時代に自身が抱えていた困

就職活動が本格スタート止まらない内定の早期化

3月に入り大学生の就職活動が本格化している。企業の採用活動に対して政府が要請している日程では、大学4年生になる直前の3月から企業の説明会および応募書類の提出が始まり、6月から面接が解禁となっている。しかし、このルールが形骸化している。もともとIT系や外資系など、早くから内定を出す企業はあったが、それ以外の企業においても早期化が進んでいる。それに加えて、新たなアイデア、イノベーション、時代の創造を賣求するものである。

て、早期採用ルート（インターンシップやオファ型就活サイトを経由した採用活動）から学生に、より早く内定を出す動きも広がっている。本学学生のなかにも、3年生の6月に就職活動の準備を始め、夏のインターンシップに参加した結果、11月には早期選考による内定を獲得した例もある。とは言え、多くの学生にとっては、これから本番である。

就職活動に力が入らない学生には、4月17日から5日間実施する「学内合同企業説明会」に参加することを勧める。「理系新卒」というブランドは人生で一度きりである。これから本命の企業の選考に臨む学生は、「実工学」の学びで身につけたチカラを自分の言葉にし、熱い想いを相手に伝えることで悔いのない就職活動をしてほしい。

模擬面接練習

就職支援課では就職相談を通して「履歴書添削」や「模擬面接練習」さらに「企業紹介」など、充実した支援を続けていく。内定獲得の日まで皆さんの味方であることを忘れないでほしい。

学長と学生代表の懇親昼食会

1月16日、学長と学生自治会代表者の懇親昼食会が開催された。成田学長、中野学生支援部長、齊藤学生支援課長、橋中央執行委員会委員長らが参加し、有意義な意見交換を行った。

昼食時は、新型コロナウイルス感染症対策として

「黙食」を徹底しての開催となった。学生は終始緊張した表情だったが、自己紹介や各委員会が抱える課題、学生自治会各団体への加入者促進など、今後の活動について展望を語った。



コロナ禍で、活動やイベントに制限が課されている各団体の活動について話が及ぶと、学長は「新型コロナウイルス感染症の影響は依然あるが、学生生活向上委員会や『工大川柳』や体育祭実行委員会などの『e-sports』など、新たな企画もコロナ禍で生まれた。クラブ団体

への加入者促進に対しても、こうした取り組みを増やし、生き生きと活動している学生自治会をアピールすることが効果的だ」と語った。

また、新入生勧誘イベントである春祭りについて、橋中央執行委員会委員長は「学生自治会が丸となって、春祭りなどの新入生歓迎イベントを盛り上げ、昨年を超える加入者増加に繋げたい」と次年度に向け意気込みを語った。

学長室を訪れ、今回の表彰について成田学長へ報告した。木島さんは工業高校在校生中に技能検定三級を取得し、本学入学当初から二級取得を目指していたと説明。「二級の課題は技術的にとても難しかったが、春休み中に先生に指導を受けながら20回以上の加工練習を重ねた結果、検定合格と成績優秀賞の表彰を受けたことはとても嬉しい」と話した。学長からは労いの言葉がかけられた。

埼玉県技能競技大会成績優秀者

機械工学科3年の木島竜さんが11月24日、さいたま市文化センター大ホールで行われた「第29回彩の国職業能力開発促進大会」技能者表彰式において、令和4年度前期埼玉県技能競技大会成績優秀者として埼玉県知事並びに職業能力開発協会会長の連名による表彰を受けた。



成績優秀者は技能検定実技試験を兼ねて実施される埼玉県技能競技大会において特に優秀である

日本ソフトウェア科学会学生奨励賞

電子情報メディア工学専攻博士前期課程2年（橋浦研究室）の飯山隆章さんが9月29日、日本ソフトウェア科学会第39回大会において学生奨励賞を受賞した。受賞研究

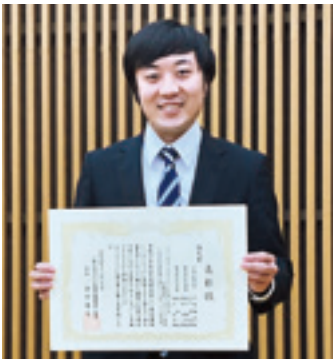


名は、「ソフトウェアの概念モデルに対する欠陥検知手法の検討」。ソフトウェアの開発工程は要件定義、設計、実装、テスト、運用の順に行われる。昨今のソフト

建設施工と建設機械シンポジウム論文賞

11月29日から30日に開催された「令和4年度建設施工と建設機械シンポジウム」において、機械工学科4年（石川研究室）大崎颯成さん（筆頭著者）が論文賞を受賞した。受賞論文は大林組大本組からの受託研究「ニューマチックケーン工法における自動掘削

システムの開発」天井走行式掘削機の自動化および排土バケット自動認識。本工法は潜工法とも呼ばれ、防波堤や橋梁の橋脚など水中構造物や地下構造物（ケーソン）を構築する際に用いられる。水や泥の流入を防ぐために、圧縮空気を送り



いて自動化する手法を開発し、実験により有効性を示した。

審査委員会の査読の結果、実施工に関する論文が多量に、ケーソン工法の自動掘削システムについてアカデミックなアプローチにより、理論的な検証に基づいてシステム開発を行っている点が高く評価された。

開放特許を活用した学生アイデア発表会審査委員特別賞

大企業の特許を活用して中小企業でも実行可能な商品化アイデア案を学生が提案する「開放特許を活用した学生アイデア発表会in埼玉」。本学1・2学年の有志チームが12月6日、審査委員特別賞を受賞した。

リーダーを務めるデータサイエンス学科1年の川崎広太さんの呼びかけに情報メディア工学科の2年生5名が賛同し、チームが結成された。テーマとなる開放特許リストから富士通の「3Dデジタイ



ング技術」を選択。これに自分達の得意分野であるIT・VR技術と大学オープンキャンパスのニーズを組み合わせ、VRオープンキャンパス実施に必要な大

たす可能性があるため、設計段階で欠陥を検知して除去することが重要となっている。

従来の欠陥感知手法で欠陥を修正する際には、対象ソフトウェアを実装した後で検知を開始する



必要があった。本研究ではその前段階、すなわち設計段階で欠陥を特定することが可能となるため、ソフトウェア開発の工程短縮に繋がることが期待されると高く評価された。

大学入学共通テスト実施報告

大学入学共通テストが1月14日・15日の両日にわたって実施され、本学は同テストの試験会場となった。受験者が安心して受験できるよう学内の準備を徹底し、学外においては鉄道機関や地元警察にも協力を要請。両日ともに各教科の試験が滞りなく行なわれた。

◆西本真一教授（建築学科）／出張先Ⅱサウジアラビア（2／26）3／10）／目的Ⅱサウジアラビア・ハウラー遺跡発掘調査

◆宮川豊美教授（ロボティクス学科）／出張先Ⅱ韓国（3／8）3／11）／目的Ⅱ第9回韓機素潤滑設計生産国際会議（ICMDT2023）発表

◆石原次郎教授（情報メディア工学科）／出張先Ⅱアメリカ（3／28）4／5）／目的ⅡThe Other Art Fair Los Angeles 2023出展

◆鈴木俊成准教授（ロボティクス学科）／出張先Ⅱ三坂育正教授（建築学科）

◆鈴木正囑託職員（総務課）

◆山下部恵美子囑託職員（LCセンター事務課）

◆平柳恵作囑託職員（工業技術博物館）

◆国外出張

◆人事異動

◆定期退職（3月31日付）

◆工藤浩教授（共通教育学群）

◆本村猛能教授（共通教育学群）

◆神林靖准教授（情報メディア工学科）

◆鈴木仁准教授（共通教育学群）

◆山本好史事務職員（財務課）

◆高橋昭夫教授（専門職大学院）

◆鈴木宏典教授（ロボティクス学科）

◆三坂育正教授（建築学科）

◆秋元俊成准教授（ロボティクス学科）

◆田口裕一事務職員（教務課）

◆鈴木正囑託職員（総務課）

◆日下部恵美子囑託職員（LCセンター事務課）

◆平柳恵作囑託職員（工業技術博物館）

◆国外出張

◆西本真一教授（建築学科）／出張先Ⅱサウジアラビア（2／26）3／10）／目的Ⅱサウジアラビア・ハウラー遺跡発掘調査

◆木村貴幸准教授（電気電子通信工学科）／出張先Ⅱアメリカ（2／28）3／5）／目的Ⅱ2023年信号処理学会非線形回路、通信、信号処理に関する国際会議で研究発表

◆松浦隆文准教授（データサイエンス学科）Ⅱ同前

◆宮川豊美教授（ロボティクス学科）／出張先Ⅱ韓国（3／8）3／11）／目的Ⅱ第9回韓機素潤滑設計生産国際会議（ICMDT2023）発表

◆石原次郎教授（情報メディア工学科）／出張先Ⅱアメリカ（3／28）4／5）／目的ⅡThe Other Art Fair Los Angeles 2023出展

◆内田祐一教授（応用化学科）／出張先Ⅱベルギー（4／15）4／23）／目的Ⅱ第8回スラグ利用国際シンポジウムでの発表と討議

◆卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうござい

ます。また、在学生のみなさん、ご進学おめでとうござい

ます。春の恒例イベント「みやしろ桜の写真コンテスト」美しい桜と宮代町の風景をテーマに撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで

サイズはA4または四つ切り、応募締切は4月21日（金）までに応募票を添付し環境推進担当まで持参・郵送してください。

みなさんが感じた「宮代の春」をスナップにしてください。

に撮影した写真を募集します。職場、家庭、野外など町内であれば場所は問いません。応募点数は3点まで